

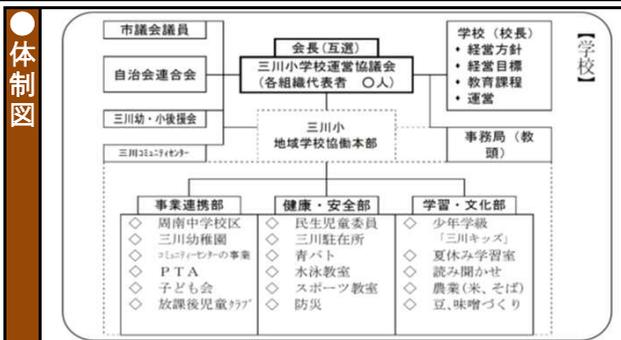
こんな活動です

ふるさと三川を大切に思う子を育てたい！ ～みつかわスタッフとともに～

静岡県袋井市	●活動名 袋井市立三川小学校 地域学校協働本部	●関係する学校名 袋井市立三川小学校
--------	----------------------------	-----------------------

協働活動開始年度	平成 28 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	10 学級	のべ児童・生徒数	180 人
活動区分	学校支援活動						外部人材を活用した教育支援活動
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数 7人			
学校運営協議会	指定・設置日 平成28年4月1日設置	ボランティアの数		延べ登録人数 128人	企業・NPO等との連携	無	
参考URL	http://www3.tokai.or.jp/mitukawa/						

●連絡先	袋井市教育委員会 学校教育課	☎ 0538-44-3172
------	----------------	----------------



●活動の概要・経緯
本校は、古くから食育を中心とした地域学習やふるさと遠足など地域とのつながりを大切にきた教育活動を行ってきた。地域のよさを知ること、ふるさと三川に愛着をもった子供を育てたいと考えてきた。しかし、学校では、授業時数の増加や体験的な活動の縮小、教職員の勤務負担軽減などが課題となっており、地域では、生活の不便さや高齢化が課題となっている。そこで、若者が定住したいと思えるような地域の魅力を子供たちに学ばせたり、子供から高齢者までの交流の場を増やして高齢者も生きがいを感じる地域づくりをしようと考えた。そこで、H28年に地域学校協働本部を立ち上げた。公民館(当時:現在はコミュニティセンター)長がコーディネーターとして学校と地域をつなぐ役割を担っている。地域の方々から学校の様々な教育活動へ支援をし、公民館の行事や社会教育事業に学校が協力する体制ができた。さらに、学校からの協力依頼に対して、できる時にできることをしてもらい「みつかわスタッフ」の体制づくりに取り組んでいる。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①授業支援・米・そば・大豆等の栽培、収穫、調理などの本物体験を行う。コーディネーターが地域の協力者と連絡調整を行う。
- ②活動支援・竹馬づくり、青墓小との交流、登下校の見守りパトロールなどは、公民館の高齢者学級や自治会の活動として協力する。
- ③学習支援・夏休み学習室や作文教室などは、放課後や長期休業に行う。募集ちらしその他、学校だよりやメール等で保護者に周知する。
- ④教育環境整備・「みつかわスタッフ」登録者が、職員員の休憩時間に行う竹馬一輪車の昇段テストや校庭の草刈りに協力する。
- ⑤公民館の社会教育事業「三川キッズ」・学校で募集や連絡等を行い、活動後には内容や児童の表れを情報交換する。
- ⑥地域の行事に参加・敬老会、公民館祭り、地域の公園イベント等に児童が合唱・作文・竹馬一輪車披露などで参加をする。

【実施に当たっての工夫】

地域学校協働本部のコーディネーターを公民館長(当時)に依頼し、地域の教育力を学校の中で生かす仕組みをつくった。学校教育では指導困難な部分を協働本部に協力依頼をし、コーディネーターが連絡調整をして協力体制をつくった。これまで各学年担任が個々に地域人材を探し、授業準備をしていたものが一本化され、スムーズに計画立案ができるようになった。順調に移行できた要因として、地域の学校への協力体制が定着していたこと、自治会連合会と公民館の密接な結びつきがあること、三川公民館がコミュニティセンター移行のモデル館として地域づくり事業を先行していたことなどが挙げられる。学校運営協議会で、学校・家庭・地域が「育てたい子ども像」や「目指す学校像」を共有した上で、活動の方向性を協議し、学校運営や教育活動の改善・充実に向けた取組を進めた。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・子供たちに地域資源を生かした多様な教育活動を集団で体験させることにより、たくましく生きる力を育てることができた。また、異年齢の交流を通して協調性や思いやりの心、社会性を身に付けることができた。さらに、地域の大人とのふれあいを通して、地域の一員であるという自覚を育てることができた。
- ・子育てを終え、学校と疎遠になりがちな世代の推進委員が教育活動の一端を担い、地域づくり・人づくりの責任とやりがいを感じることができた。「子供たちから元気ももらえた。」「学校で地域の新しい仲間と知り合えた。」「自分の知識や経験を生かすことができた。」など、肯定的な感想が多く寄せられた。

●その他

土曜日の子供の居場所づくりとして、社会教育事業「みつかわキッズ」を開催している。農業体験、防災体験、座禅体験、川遊び、スポーツ、イングリッシュ講座、高齢者からの伝承体験など、多様な活動を行っている。



(夏地域住民の協力を得て、公民館で作文学習室や宿題の補助)



家防の手作りキャンプでは、地域の防災専門